



感染対策の基本 ～新型コロナウイルス～

鹿児島県では、連日多くの新型コロナウイルス感染症の感染者が確認され、町内でも感染者数が増加傾向にあります。

スクを高める行動や場面として、次の「5つ」の場面があります。

大切な人や自分自身を守るために、次の感染対策をとりましょう。

感染リスクの高い「5つ」の場面



① 飲食を伴う懇親会など

飲酒の影響で気分が高揚すると、注意力が低下し、大きな声を出しやすくなります。狭い空間に長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まります。

② 大人数や長時間におよぶ飲食

長時間におよぶ飲食や接待を伴う飲食では、短時間の食事と比べて感染リスクが高まります。例えば5人以上の飲食では、大声になり飛まつ感染のリスクが高まります。

③ マスクなしでの会話場面

マスクなしに近距離で会話をすることで、飛まつ感染やマイク口飛まつ感染での感染リスクが高まります。カラオケ、車やバスでの移動の際には注意が必要です。

④ 狭い空間での共同生活

寮の部屋やトイレなどの狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まります。

⑤ 居場所の切り替わり

仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがあります。



改めて「3密」を避けましょう

感染者を責めてはいけません

感染者が責められるような社会だと、検査を受けなくなり、結果的に感染が徐々に広がり、やがて爆発的に拡大してしまいます。

PCR検査を受けることや検査結果が陽性となった感染者を隔離することは、感染拡大を予防する重要な対策の1つです。



受診前に電話相談を

発熱し、仮に感染していた場合、受診した医療機関内あるいは公共交通機関などでの移動中に、感染を拡大させてしまうリスクがあるので、すぐに医療機関を受診することは避けてください。



まずはかかりつけ医、あるいは近隣の医療機関に電話で相談し、指示に従ってください。

一人ひとりが医療機関を受診する前に電話で相談することで、感染の拡大防止につながります。

問い合わせ先
役場介護環境課
環境衛生係
☎(86)1153[直通]